

平成 30 年度 いわき明星大学入学試験

1. 募集定員

試験種別 学部・学科	AO	推薦	一般		センター利用			合計
			1期	2期	A	B	C	
教養学部 地域教養学科	20	55	15	5	15	5	5	120
薬学部 薬学科	5	20	20	5	30	5	5	90
看護学部 看護学科	—	40	10	5	15	5	5	80
合計	25	115	45	15	60	15	15	290

※社会人特別入試（教養学部・看護学部）の募集定員は若干名。

2. 入試日程

入試種別	出願期間	選考日	合格発表	手続期限
AO 1期	8/17 (木) ~9/8 (金)	一次：書類審査	一次：9/19 (火)	12/15 (金)
		二次小論提出期限：10/2 (月)	二次：10/13 (金)	
		二次：10/8(日)		
AO 2期	10/31 (火) ~11/22 (水)	一次：書類審査	一次：11/28 (火)	1/12 (金)
		二次小論提出期限：12/5 (火)	二次：12/15 (金)	
		二次：12/9(土)		
吹奏楽特待AO 1期	8/17 (木) ~10/2 (月)	10/8 (日)	10/13 (金)	12/15 (金)
吹奏楽特待AO 2期	11/17 (金) ~12/5 (火)	12/9 (土)	12/15 (金)	1/12 (金)
専門高校・総合学科 特別AO	8/17 (木) ~10/2 (月)	10/8 (日)	10/13 (金)	12/15 (金)
社会人特別		11/12(日)	11/16 (木)	12/15 (金)
推薦	指定校推薦 公募推薦1期 地域公募推薦1期			
	公募推薦2期 地域公募推薦2期			
一般1期	1/5 (金) ~1/24 (水)	1/25(木)	1/27 (土)	2/22 (木)
一般2期	2/1 (木) ~2/15 (木)	2/16(金)	2/20 (火)	3/8 (木)
センターA	1/5 (金) ~1/31 (水)	大学独自の試験は実施しない	2/7 (水)	2/22 (木)
センターB	2/1 (木) ~2/15 (木)	大学独自の試験は実施しない	2/20 (火)	3/8 (木)
センターC	2/22 (木) ~3/12 (月)	大学独自の試験は実施しない	3/16 (金)	3/22 (木)

■一般1期および一般2期は、出願締切日の12：00必着

■センターBは、出願締切日必着

■その他入試種別の出願締切は、出願締切日消印有効

3. 入試会場

入試種別		入試会場
A O 1 期・2 期		いわき
吹奏楽特待 A O 1 期・2 期		いわき
専門高校・総合学科特別 A O		いわき
社会人特別		いわき
推薦	指定校推薦、指定校特待推薦、公募推薦 1・2 期 地域公募推薦 1・2 期、(指定校推薦 2 期)	いわき
一般 1 期		いわき、郡山、水戸、仙台、東京
一般 2 期		いわき、郡山、仙台
センター A・B・C		独自の試験は実施しない

4. 出願資格

入試種別	学部	出願資格
A O (専願)	教養 薬	いわき明星大学の教育目標「全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成」と入学志望学部で何を学ぶべきかを十分に理解し、明確な目的意識をもって自己の能力開発に積極的に取り組む意欲のある者で、次の(1)または(2)の条件を満たし、(3)の条件を守ることができる者。 (1)高等学校、もしくは中等教育学校を平成 30 年 3 月卒業見込みの者、または平成 25 年 3 月から平成 29 年 3 月に卒業した者。 (2)学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および平成 30 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者のうち平成 30 年 4 月 1 日現在で 18 歳以上 23 歳以下の者。 (3)専願とし、合格後の入学辞退は認めない。
吹奏楽特 待 A O (専願)	教養	いわき明星大学の教育目標「全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成」と教養学部地域教養学科で何を学ぶべきかを十分に理解し、明確な目的意識をもって自己の能力開発に積極的に取り組む意欲のある者で、次の(1)または(2)の条件を満たし、(3)の条件を守ることができる者。 (1)高等学校、もしくは中等教育学校を平成 30 年 3 月卒業見込みの者、または平成 25 年 3 月から平成 29 年 3 月に卒業した者。 (2)学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および平成 30 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者のうち平成 30 年 4 月 1 日現在で 18 歳以上 23 歳以下の者。 (3)専願とし、合格後の入学辞退は認めない。
専門高校 ・総合学 科特別 A O (専願)	教養 薬	いわき明星大学の教育目標「全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成」と入学志望学部で何を学ぶべきかを十分に理解し、明確な目的意識をもって自己の能力開発に積極的に取り組む意欲のある者。また、高等学校、もしくは中等教育学校を平成 30 年 3 月に卒業見込みの者で、次の(1)の条件を満たし、(2)の条件を守ることができる者。 (1) 次の①または②のいずれかに該当する者。 ①工業、商業、農業等の専門教育を主とする学科に在学している者。 ②総合学科に在学している者。 (2) 専願とし、合格後の入学辞退は認めない。
社会人特 別(専願)	教養 看護	平成 30 年 4 月 1 日までに 22 歳以上に達し、(1)のいずれかに該当し、(2)の条件を守ることができる者。 (1) 次の①から③のいずれかに該当する者。 ①高等学校、もしくは中等教育学校を卒業した者。 ②通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者。 ③学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めら

		れる者。 (2) 専願とし、合格後の入学辞退は認めない。
指定校推薦(専願)	教養 薬 看護	高等学校、もしくは中等教育学校を平成 30 年 3 月に卒業見込みの者で、学力・人物・健康面ともに優秀であり、出身学校長の推薦のある者で、本学の指定する条件を満たす者。 なお、専願とし、合格後の入学辞退は認めない。
指定校特待推薦(専願)	看護	高等学校、もしくは中等教育学校、その他特に本学が受験を認める学校を平成 30 年 3 月に卒業見込みの者で、学力・人物・健康面ともに優秀であり、出身学校長の推薦及び地域連携協議会教育部会長の承認を得られた者で、本学の指定する条件を満たす者。なお、専願とし、合格後の入学辞退は認めない。
地域公募推薦(専願)	看護	高等学校、もしくは中等教育学校、その他特に本学が受験を認める学校を平成 30 年 3 月に卒業見込みの者で、学力・人物・健康面ともに優秀であり、出身学校長の推薦のある者で、下記の(1)および(2)の条件を満たす者。(特に出身学校長の推薦がある場合、平成 27 年 3 月以降卒業の者も含む。) なお、専願とし、合格後の辞退は認めない。 (1) 福島県・宮城県・山形県・茨城県・栃木県・群馬県・新潟県の居住者、もしくは出身学校の所在地が当該地域にある者。 (2) 在学中の全体の評定平均値が 3.2 以上の者。
公募推薦(専願)	教養	高等学校、もしくは中等教育学校、その他特に本学が受験を認める学校を平成 30 年 3 月に卒業見込みの者で、学力・人物・健康面ともに優秀であり、出身学校長の推薦のある者で、下記の 3 項目のうちいずれかに該当する者。(特に出身学校長の推薦がある場合、平成 29 年 3 月卒業の者も含む。) なお、専願とし、合格後の入学辞退は認めない。 (1) 在学中の全体の評定平均値が 3.0 以上の者。 (2) 評定平均値が 4.0 以上の教科を 1 教科以上有する者。 (3) 特別活動(スポーツ・文化・生徒会活動等)で卓越した能力・資質を有すると認められる者。
	薬	高等学校、もしくは中等教育学校、その他特に本学が受験を認める学校を平成 30 年 3 月に卒業見込みの者で、学力・人物・健康面ともに優秀であり、出身学校長の推薦のある者で、下記の 2 項目のうちいずれかに該当する者。(特に出身学校長の推薦がある場合、平成 29 年 3 月卒業の者も含む) なお、専願とし、合格後の入学辞退は認めない。 (1) 在学中の全体の評定平均値が 3.2 以上の者。 (2) 『理科』にて評定平均値が 4.0 以上の「科目」を 1 科目以上有する者。 (対象科目：物理基礎・化学基礎・生物基礎・物理・化学・生物)
一般(併願)	教養 薬 看護	下記の(1)、(2)、(3)のいずれかの条件を満たしている者。 (1) 高等学校、もしくは中等教育学校を卒業した者、または平成 30 年 3 月卒業見込みの者。 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者、または平成 30 年 3 月修了見込みの者。 (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および平成 30 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者。
センター試験利用(併願)	教養 薬 看護	下記の(1)のいずれかの条件を満たし、かつ(2)に該当し本学の指定する試験科目を受験している者。 (1) 次の①から③のいずれかに該当する者。 ① 高等学校、もしくは中等教育学校を卒業した者、または平成 30 年 3 月卒業見込みの者。 ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者、または平成 30 年 3 月修了見込みの者。 ③ 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および平成 30 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者。 (2) 平成 30 年度大学入試センター試験を受験した者。 (前年度の「大学入試センター試験」の成績利用はできません)

5. 試験科目

(1) A O (教養学部・薬学部) (吹奏楽除く)

試験科目	配点
調査書	100
エントリーシート	100
小論文	100
面接 (1回)	100

(2) 吹奏楽特待 A O (教養学部)

試験科目	配点
調査書	100
面接 (1回)	100
実技	100

(3) 専門高校・総合学科特別 A O (教養学部・薬学部)、指定校推薦 (全学部)

試験科目	配点
調査書	100
面接 (1回)	100

(4) 指定校特待推薦 (看護学部)

試験科目	配点
調査書	50
小論文	200
面接 (1回)	50

(5) 公募推薦 (教養学部・薬学部)、地域公募推薦 (看護学部)、社会人特別 (教養学部・看護学部)

試験科目	配点
調査書	100
面接 (2回)	100

※社会人入試は調査書評価を除く

(6) 一般

学部	教科	試験科目	時間 (配点)
教養	外国語	「英語」(コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II) ※1	2教科 外国語: 必須 数学・国語: 1教科選択 各教科 60分(100点)
	数 学	「数学」(数学 I)	
	国 語	「国語」(国語総合) ※2	
薬	理 科	「化学」	2教科 理科(化学): 必須 外国語・数学: 1教科選択 各教科 60分(100点)
	外国語	「英語」(コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II) ※1	
	数 学	「数学」(数学 I 必須。「数学 II」「数学 A」「数学 B」から 2 科目選択)	
看護	外国語	「英語」(コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II)	2教科 外国語: 必須 国語・数学・理科: 1教科選択 各教科: 60分(100点)
	国 語	「国語」(国語総合) ※2	
	数 学	「数学」(数学 I)	
	理 科	「理科」(「化学基礎」「生物基礎」から 1 科目選択)	

※1: 英語資格・検定試験による点数化を行う (教養学部・薬学部)。

※2: 古文、漢文は除く。

(7) センター試験利用

学部	教科	利用科目	利用方法
教養	外国語	『英語』(リスニングを含む) ※1	2科目選択※2 400点(各科目200点換算)
	国語	『国語』	
	数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』	
	地・歴	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』 『地理A』『地理B』	
	公民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』	
薬	外国語	『英語』(リスニングを含む) ※1	3科目 ※2 600点(各科目200点換算) 外国語・数学『数学Ⅰ・数学A』: 必須 『数学Ⅱ・数学B』『化学』『物理』『生物』より1科目選択
	数学	『数学Ⅰ・数学A』	
	数学	『数学Ⅱ・数学B』	
	理科	『化学』『物理』『生物』	
看護	外国語	『英語』(リスニングを含む)	3科目 ※2 600点(各科目200点換算) 外国語: 必須 国語・数学・理科より2科目選択 理科の科目のうち、基礎を付すものは2科目で1科目扱いとする。
	国語	『国語』	
	数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・A』	
	理科	理科『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から 2科目 理科『化学』『物理』『生物』	

※1: 英語資格・検定試験による点数化を行う(教養学部・薬学部)。

※2: 利用科目数以上を受験した場合は、高得点科目を利用する。